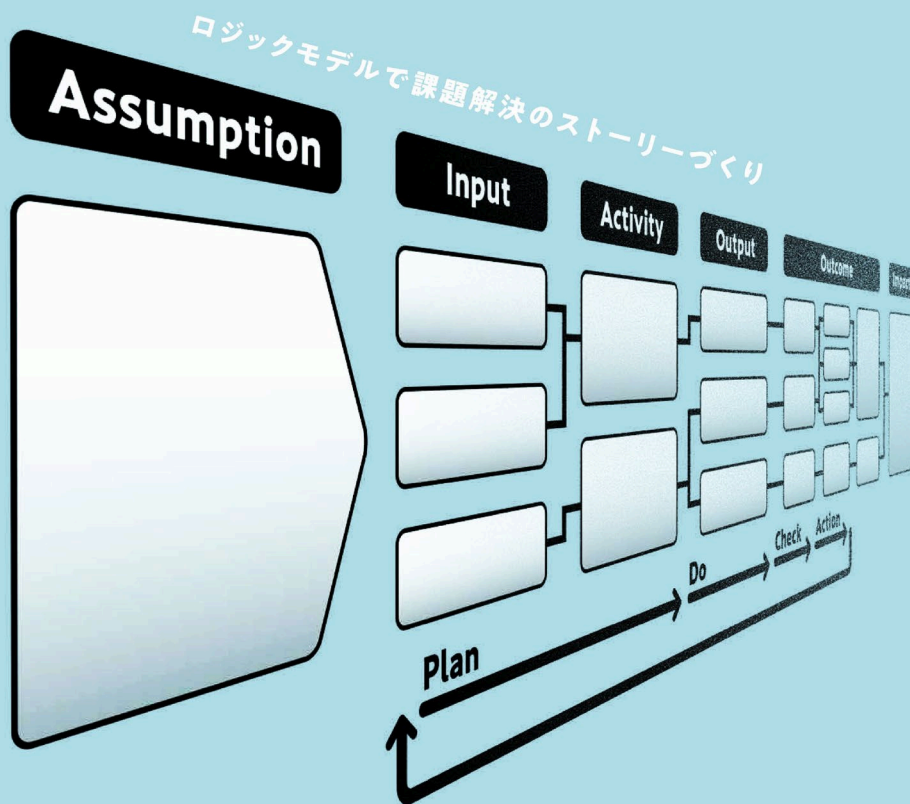


### 3. 都道府県・市町村連携支援リーフレット及び支援ツール

#### ①在宅医療・介護連携推進事業リーフレット

# 在宅医療・介護 連携推進事業 実践ガイド

— PDCAとロジックモデルによる推進手法 —



厚生労働省委託事業

「令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業」都道府県・市町村連携支援リーフレット

機動的で柔軟な

## 在宅医療・介護連携推進事業を推進するための PDCAサイクル

在宅医療・介護連携推進事業において、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築するために機動的で柔軟なアプローチ（迅速なPDCAサイクル）が求められています。迅速にPDCAサイクルを回すために重要な役割を担う

が「ロジックモデル」です。「ロジックモデル」で課題解決のストーリーを作成し、「PDCAサイクル」を迅速に回して効果検証・改善を行いつつ、目的に向かって柔軟に推進してまいります。

ロジックモデルで政策目標と目指すべき姿を定め、施策を実施するなかで計画にズレが生じた際は迅速にPDCAサイクルを回して軌道修正する

ロジックモデル  
政策目標を達成するための「航海図」

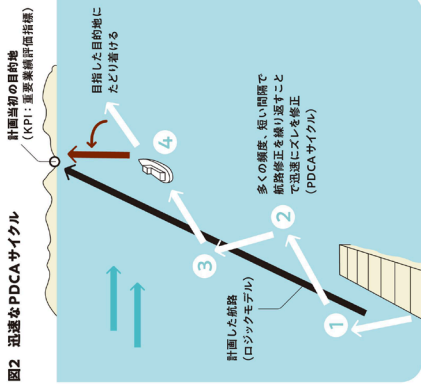
+

迅速なPDCAサイクル  
計画した施策を実施・検証し、改善する

## 目的地向かって柔軟に航路を修正して進んで行く

図2のように、航海に例えて説明すると、最初に目的地を明確に定め（KPI）、目標達成のための方法をあらかじめ決めておきます。そして、できるだけ多くの頻度、短い間隔（①②③④）で位置測定を行います。計画した航路（黒い矢印）とのズレが生じた場合、多くの頻度、短い間隔でズレを修正していきます。このように航路修正を繰り返すことで、目指した目的地にのどり着けます。

当初の目的地までの航路を記した航海図がロジックモデルで、航路のズレを修正する方法が迅速なPDCAサイクルです。

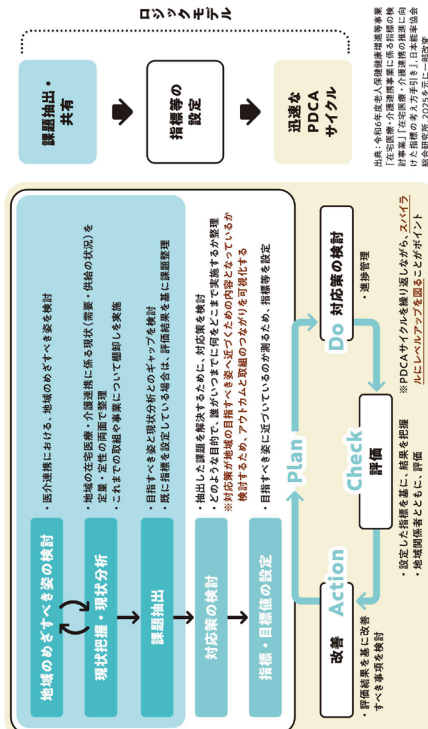


出典：総務省「第7回高齢者福祉推進委員会（第10回高齢者福祉推進委員会）の合同」（令和4年3月7日開催）「高齢者福祉推進委員会」資料（P4）

参考

## PDCAサイクルに沿った

## 在宅医療・介護連携推進事業における地域の目指すべき姿の検討例



出典：令和4年度在宅医療連携推進事業「地域包括ケアシステム」構築に向けた地域の実践事例集「在宅医療・介護連携の推進に向けた地域の考えと取り組み」日本郵政株式会社研究部、2023年6月に一部改定

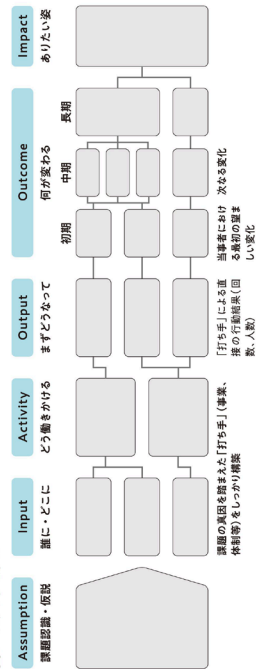
## 「ロジックモデル」は政策目標達成までの「航海図」

関係者間の認識を共有するコミュニケーション・ツールとしての役割も

ロジックモデルとは、課題解決のために立案した政策目標を達成するためのストーリーを示した「航海図」です（図1）。「Assumption（アサンプション：課題、仮説）→Input（インプット：投入資源）→Activity（アクティビティ：活動、施策）→Output（アウトプット：活動目標・結果）→Outcome（アウトカム：成果）→Impact（インパクト：ありたい姿）」と

いう政策実現に向けた各行程を体系的に図式化して、プロジェクトの目的と手段のロジック（論理的なつながり）を明確に把握することが、目指すべきゴールを達成するために必要です。さらにロジックモデルは、関係者間の認識共有や達成段階ごとの評価をするためのコミュニケーション・ツールとしても重要な役割を果たします（詳細はPO6-09参照）。

図1 ロジックモデル

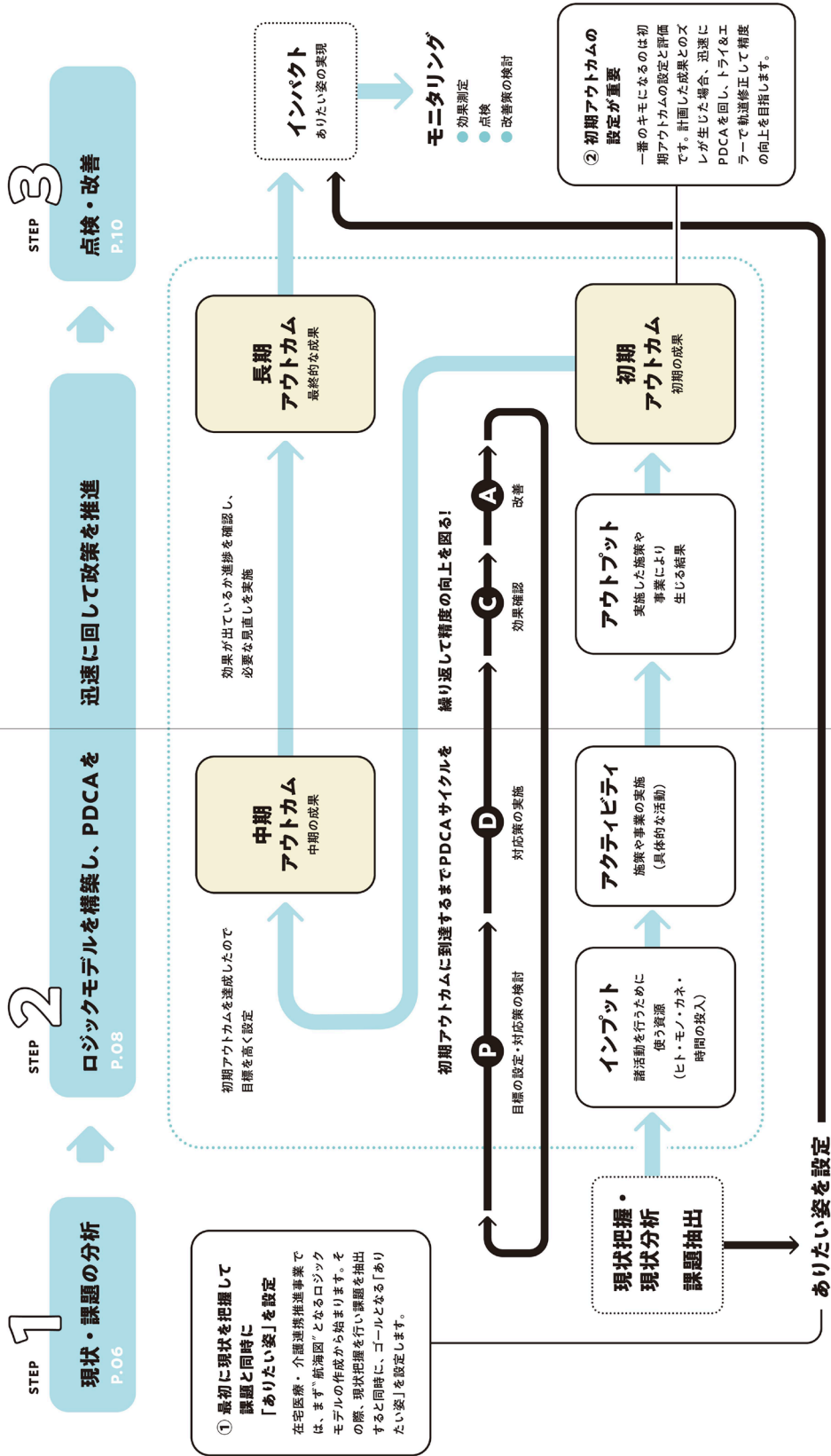


出典：医療経済研究機構「令和5年度在宅医療連携推進事業「地域包括ケアシステム」構築に向けた地域の実践事例集」資料（P4）（一部改定）

# 在宅医療・介護連携推進事業の 政策形成一連の流れ

## ロジックモデルを構築し 素早くPDCAサイクルを回して政策を推進

状況の変化に応じて  
政策を見直し・実行する動的なEBPMの実践



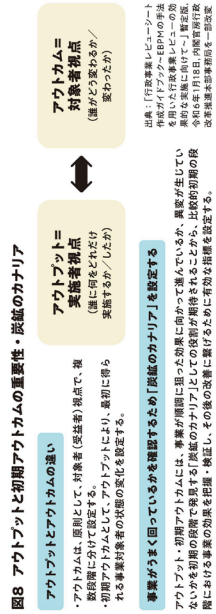




# PDCAサイクルを素早く回すためのポイント

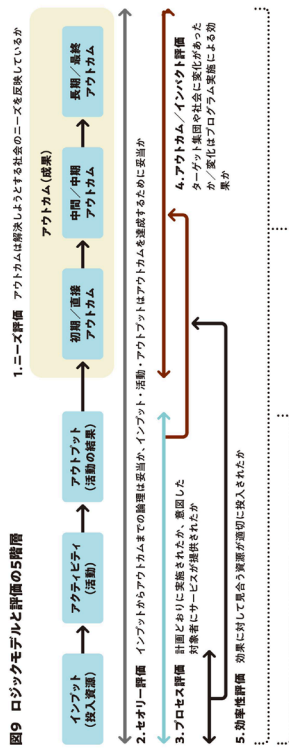
## 01 アウトプットと初期アウトカムは「炭鉱のカナリア」

かつて炭鉱で、毒ガスに敏感に気がつくカナリアを連れて入坑して危険を回避したこと、事前に危険を察知して知らせるサインを「炭鉱のカナリア」といいます。アウトプットと初期アウトカムは、政策や事業が順調に進まず、異常があることを初期の段階で発見する炭鉱のカナリアとしての役割があります。「アウトプットで決められた回数ができるか」「初期アウトカムで相手の変化が少なかった」などのように結果が出なかった場合は、すぐに立ち返ってPDCAサイクルを回すために、特にアウトプットと初期アウトカムを重視します。



## 02 ロジックモデルの各段階で細かく評価を実施する

ロジックモデルにおける評価の階層と評価をすすめる際のポイントを図9にまとめました。「ニーズ評価」と「セグリー評価」はロジックモデルを作成する際に行われるもので、これにより「ありたい姿(目標)」が設定されます。「プロセス評価」にて計画とおりにアクティビティが実施され、評価するポイント(参照)。



**個別事業を評価するポイント**  
 目的の達成に向けて、計画に位置づけられた個々の事業は、①当初の予定通り進捗できているか ②取組の集約によって、想定していた結果が得られているか、という観点です。

**アウトカム(成果)を評価するポイント**  
 地域で行っている取組全体を評価する場合は、それぞれの事業の進捗状況をとりまとめ、全体の取組がどのようなように進んでいるかを把握することが必要です。さまざまな事業の進捗、また地域社会に対して何らかのよい影響を与えているか、という観点です。

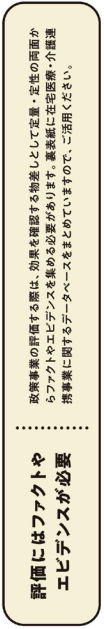
**社会全体の取組(国連持続可能な開発目標)を評価するポイント**  
 国連持続可能な開発目標(SDGs)の達成状況、日本の持続可能な開発目標(J-SDGs)の達成状況、社会全体の取組が、2025年までに達成されているか、という観点です。

# STEP 3

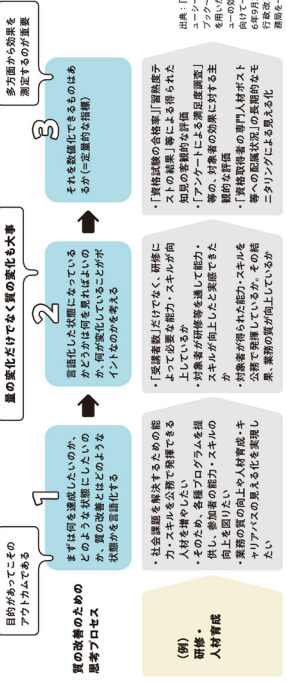
## 評価・点検・改善

状態の変化に応じて政策を見直し、ダイナミックなEBPMを実行する

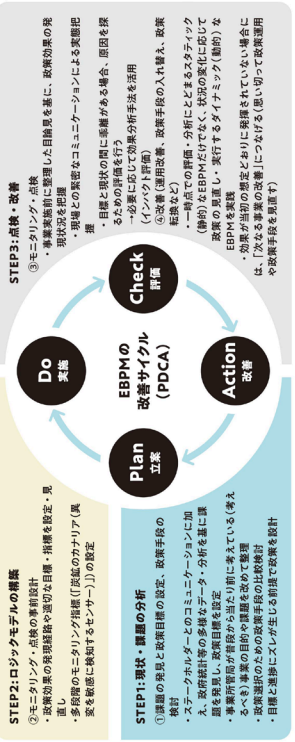
ロジックモデルを作成し、PDCAサイクルを回すためには、事業がうまく進んでいるかを図る評価指標(目標値)の設定が重要になります。評価指標を設定する際は、最初に「どんな状態になりたいか」ということを言語化します。次に「どのような状態になっているか」ということを言語化し、現状でベストと考える政策を推進し、評価して改善していくという新しい形の取組にぜひ挑戦してみてください。



### 図10 効果検証を可能にするための目標・指標の設定プロセス



### 図11 EBPMの改善サイクル(PDCA)



出典:「内閣府行政改革推進本部事務局、経理行政推進部(行政改革推進部)の構築と関係(「行政改革推進部」)を一部改題

ロジックモデル作成事例  
兵庫県・赤穂市

課題解決ストーリー

ありたい姿：再骨折を予防して、百歳になっ

(ロジックモデル)【効果発現経路】

でも、自分の足で歩けるまちな赤穂

インパクト

ありたい姿

**再骨折を予防して、百歳になっても、自分の足で歩けるまちな赤穂**

高齢者が、骨の健康を保ち、再骨折することなく自分らしく暮らしている

- ・骨折を起さない
- ・要介護認定申請者数の減少
- ・骨折による入院・外来医療費が削減する
- ⇒ 高齢者生活の平均年齢の上昇

高齢者が、骨の健康を保ち、再骨折することなく自分らしく暮らしている

- ・骨粗鬆症高齢者が再骨折しない
- ・要介護認定申請者数の減少
- ・骨折による入院・外来医療費が削減する
- ⇒ 高齢者生活の平均年齢の上昇

本人の活動意欲が上がり、毎日の生活や行動が活発的になる

- ⇒ 週1回以上外出している市民の割合

アウトカム

相手はどろ変化するかどうやって、その結果高齢者がどうなる



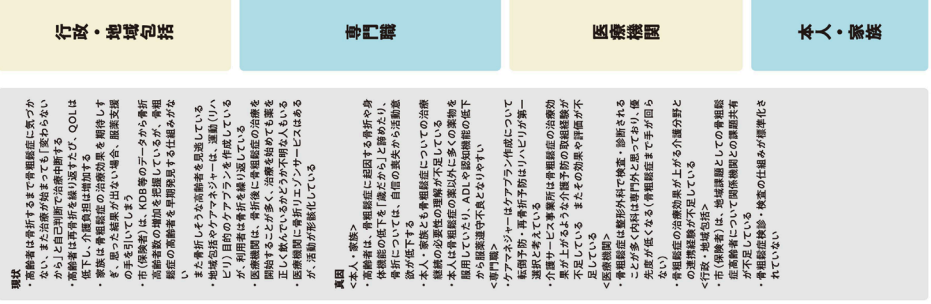
アウトプット

実施結果



インプット

誰に



仮説

課題仮説

現状

- ・高齢者は骨折するまで骨粗鬆症に気づかない、また治療がすすんでも変わらない
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる

現状

- ・高齢者は骨折するまで骨粗鬆症に気づかない、また治療がすすんでも変わらない
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる

現状

- ・高齢者は骨折するまで骨粗鬆症に気づかない、また治療がすすんでも変わらない
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる
- ・高齢者は骨折した後に生活がままではなくなる

インパクト

ありたい姿

高齢者が、骨の健康を保ち、再骨折することなく自分らしく暮らしている

- ・骨折を起さない
- ・要介護認定申請者数の減少
- ・骨折による入院・外来医療費が削減する
- ⇒ 高齢者生活の平均年齢の上昇

高齢者が、骨の健康を保ち、再骨折することなく自分らしく暮らしている

- ・骨折を起さない
- ・要介護認定申請者数の減少
- ・骨折による入院・外来医療費が削減する
- ⇒ 高齢者生活の平均年齢の上昇

本人の活動意欲が上がり、毎日の生活や行動が活発的になる

- ⇒ 週1回以上外出している市民の割合

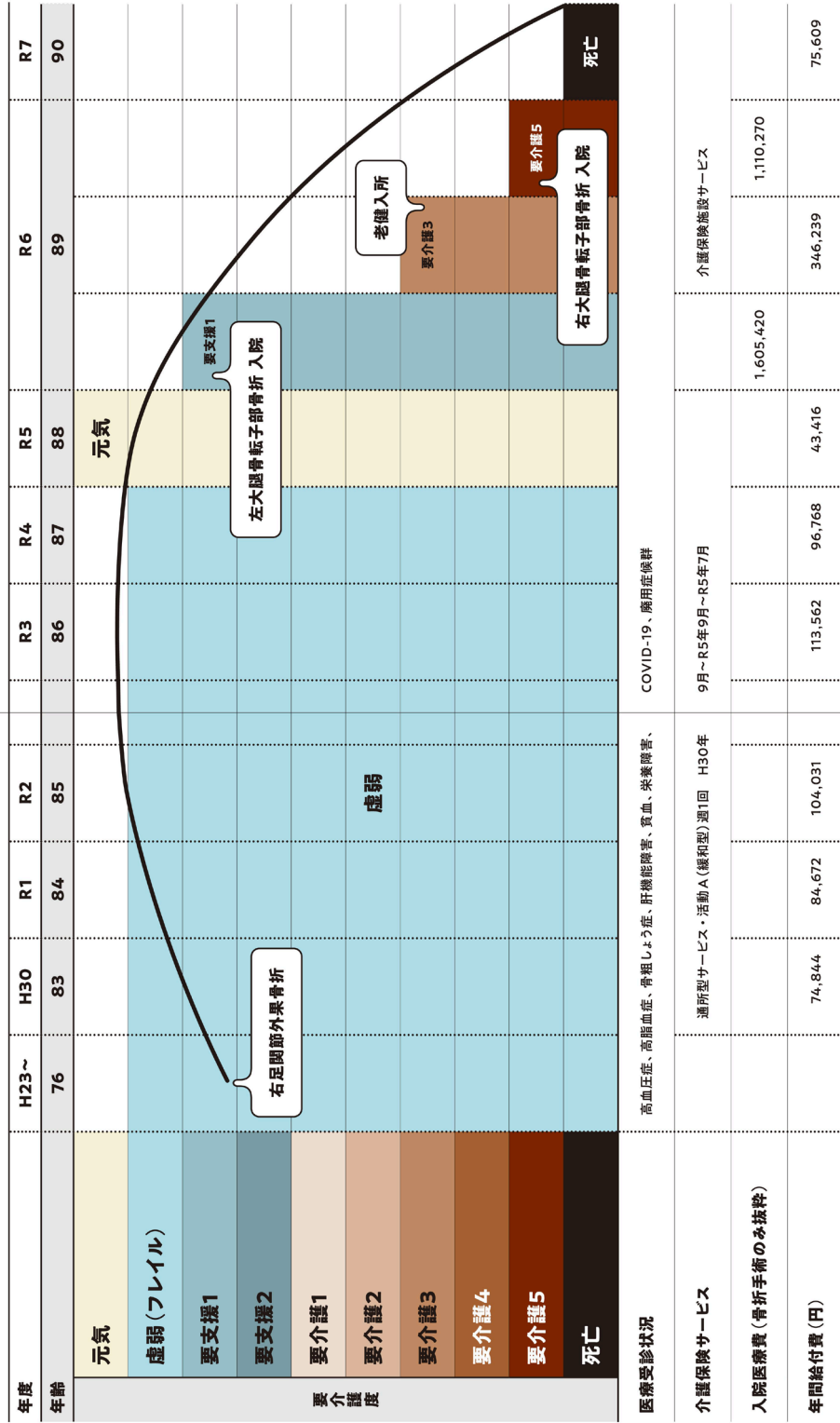
# Aさん(90代女性)のペイシエント

# ジャーニー

ロジックモデル作成事例  
兵庫県・姫路市 参考

Aさん(独居)は、H23年に初発骨折後、骨粗しょう症の診断を受けたが、自己判断で治療中断していた。再骨折入院を機に要介護認定を行ったが、その後も骨折を繰り返し、R7年に死亡

KDBシステムを活用して骨折など特定の病名を持つ対象者を抽出し、当該対象者のレセプト・検診データ・介護情報を統合することで、背景要因等、多角的に分析検討することができる。



# 在宅医療・介護連携に役立つデータベース

ロジックモデルの作成および事業の評価などを行う際の参考にしてください。

## 在宅医療・介護連携に係るデータベース

名称	概要	出典
①在宅医療・介護連携推進事業に係るプラットフォーム	・事業担当者等にとって、有用な情報を集約したポータルサイト。自治体の事業担当者間の情報交換の場、関連法規、研修会情報、事例等を一元化して掲載	在宅医療・介護連携推進事業に係るプラットフォーム <a href="https://zaitakupf.mhlw.go.jp/">https://zaitakupf.mhlw.go.jp/</a>
②在宅医療にかかる地域別データ集	・人口、在宅療養支援病院等の施設数、自宅死の割合、老人ホーム死の割合	厚生労働省 HP <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000061944.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000061944.html</a>
③NDB オープンデータ	・NDB データから汎用性の高い基礎的な集計表を作成し、「NDB オープンデータ」として、医科診療行為(算定回数、患者数)などを公表 ※都道府県別、二次医療圏別など	厚生労働省 HP <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html</a>
④地域包括ケア「見える化」システム	・介護保険事業計画の策定・実行を総合的に支援するための情報システム ・訪問看護回数 ・訪問介護回数 など	厚生労働省 HP <a href="https://mieruka.mhlw.go.jp/">https://mieruka.mhlw.go.jp/</a>
⑤経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース(SCR)	・病院数 ・一般診療所による訪問診療の実施件数 など	経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース <a href="http://wwwb.cao.go.jp/itaiikaiku/mieruka/index.php">http://wwwb.cao.go.jp/itaiikaiku/mieruka/index.php</a>
⑥地域医療情報システム(JMAP)	・日本医師会が運用 ・医療介護需要予測指数 ・医療系・介護系施設数 ・全国や都道府県、二次医療圏、市町村単位	地域医療情報システム <a href="http://jmap.jp/cities/detail/pref/27">http://jmap.jp/cities/detail/pref/27</a>

## 人口等で活用可能な主なオープンデータ

項目	概要	出典
①人口推移	・市町村別の人口 ・高齢者単身世帯 など	政府統計の総合窓口(e-Stat) 国勢調査 都道府県・市区町村別統計表 <a href="https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;layout=datalist&amp;toukei=00200521&amp;tstat=000001049104&amp;cycle=0&amp;class1=000001049105">https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;layout=datalist&amp;toukei=00200521&amp;tstat=000001049104&amp;cycle=0&amp;class1=000001049105</a>
②将来人口推計	・市町村別の将来の男女5歳階級別推計人口 ・国勢調査を基にした推計	国立社会保障・人口問題研究所「男女・年齢(5歳)階級別データ」[日本の地域別将来推計人口]令和5(2023)年推計 <a href="https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/shicyoson23/t-page.asp">https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/shicyoson23/t-page.asp</a>
③要支援・要介護認定者数	・保険者別の第1号被保険者数 ・保険者別の要介護認定者数 など	政府統計の総合窓口(e-Stat) 介護保険事業状況報告 <a href="https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;toukei=00450351&amp;tstat=000001031648">https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;toukei=00450351&amp;tstat=000001031648</a>
④死亡者数、死亡場所	・市町村別の死亡数 ・病院、老人保健施設、自宅等の死亡場所	※各都道府県の人口動態統計のサイト
⑤死亡場所	・市町村別の自宅死の割合 ・市町村別の老人ホーム死の割合	厚生労働省 HP 在宅医療にかかる地域別データ集 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000061944.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000061944.html</a>

## 体制整備等で活用可能な主なオープンデータ

項目	概要	出典
①医療系の施設数	・往診を実施している診療所・病院数 ・在宅看取りを実施している診療所・病院数 ・歯科訪問診療を実施している診療所・病院数 など ※実際の稼働状況は判断できない点に留意	医療施設調査厚生労働省 HP <a href="https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html">https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html</a>
②医療系の施設数	・医科、歯科、薬局の届出数 ・訪問看護ステーションの届出数 ・各施設基準の届出数 ※実際の稼働状況は判断できない点に留意	施設基準の届出受理状況(各地方厚生局)
③介護系の施設数	・介護保険施設数 ・介護事業所施設数	介護サービス施設・事業所調査 厚生労働省 HP <a href="https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/24-22-2.html">https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/24-22-2.html</a>
④介護系の施設数	・個別物件の登録情報のダウンロードが可能 ※集計は困難	サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム <a href="https://www.satsuki-jutaku.jp/index.php">https://www.satsuki-jutaku.jp/index.php</a>
⑤患者数	・往診を受けた患者数 ※都道府県別、二次医療圏別のみ	患者調査 厚生労働省 HP <a href="https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html">https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html</a>

出典：令和6年度老人保健健康増進等事業「在宅医療・介護連携事業に係る指標の検討事業」[在宅医療・介護連携の推進に向けた指標の考え方手引き]、日本能率協会総合研究所、2025

[発行日] 令和8年(2026)年3月31日

[発行] 株式会社 日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

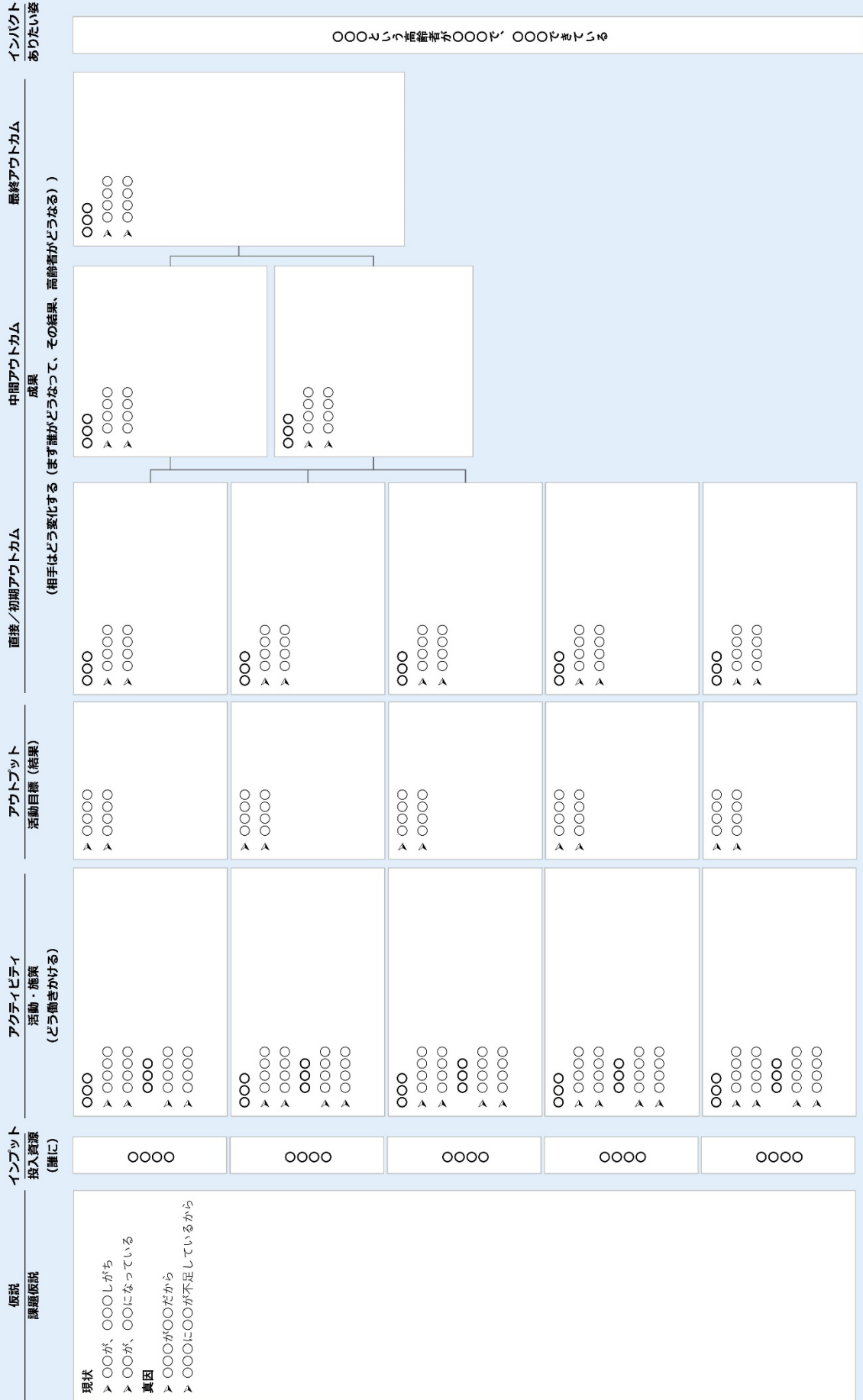
[制作] アドバンスクリエイト株式会社

[デザイン] 株式会社ファントムグラフィックス





③ 課題解決ストーリー（ロジックモデル）【効果発現経路】





厚生労働省委託事業  
在宅医療・介護連携推進支援事業  
— 事業報告書 —

---

令和8年3月

株式会社 日本能率協会総合研究所

